

# 第94期 中間報告書

平成23年4月1日から平成23年9月30日まで



## トップメッセージ

決算概況と今後の取組み>>>P1-2

販路拡大に向けた事業展開をレポート

特集

- POSA型ギフトカード事業>>>P5
- WEB 事業>>>P6
- ギフトアソート事業>>>P6

伊藤忠食品株式会社

証券コード：2692

# 「成長とBPR」を注力テーマに掲げ 卸機能を強化していきます。

株主の皆様におかれましては、日頃より温かいご支援を賜り、心より御礼申し上げます。

当社平成24年3月期第2四半期連結累計期間（平成23年4月1日から平成23年9月30日まで）の事業概況等を報告申し上げます。

平成23年12月

代表取締役  
社長執行役員

濱口 泰三



## Q 第2四半期までの営業状況は いかがでしたか？

↓  
A コンビニエンスストア等を  
中心とする取引増加により、  
増収増益となりました。

国内の経済情勢は、震災の発生後、サプライチェーンの復旧とともに生産・消費が持ち直す動きを見せましたが、海外の金融不安を背景に円高や株安が進行し、厳しい環境が続きました。食品流通業界では、震災による自粛ムードや省電力対応から、さらに消費者の生活防衛意識が高まり、事業環境の不透明感が強まっています。

こうした状況の中、当社グループは中期経営計画「NEXT 10」の目標である「卸機能日本一のグッドカンパニーになる」

の実現に向けて、既存中核事業における取引の深耕と新規成長分野の開拓に注力してまいりました。

その結果、コンビニエンスストアを中心とする取引増加により売上高は、前年同期比で増収となりました。営業利益は、震災の影響により物流関連費用の増加がありましたが売上総利益の増加等により増益となりました。四半期純利益は、持分法投資損益の良化等による経常利益の増加と投資有価証券の売却等により増益となりました。

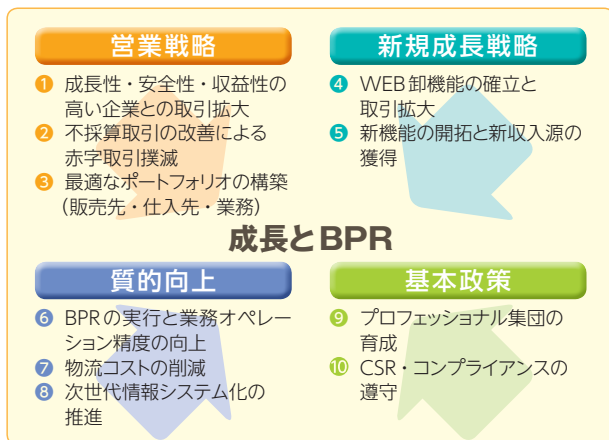
以上により当第2四半期の連結業績は、売上高3,116億2百万円（前年同期比1.4%増）、営業利益31億24百万円（同7.6%増）、経常利益35億97百万円（同8.7%増）、四半期純利益24億18百万円（同33.8%増）と、増収増益となりました。

## Q 現在の注力テーマと通期の見通しについて お聞かせ下さい。

↓  
A 「卸機能の強化」を果たすとともに、  
次なる成長ビジョンへの足掛かりを  
築いていきます。

当期は、中期経営計画「NEXT10」の第2ステージ「卸機能の強化」を締め括る最終年度です。現在、「営業戦略」「新規成長戦略」「質的向上」「基本政策」の4軸により「成長とBPR (Business Process Re-engineering)」に取組み、「卸機能の強化」に注力しています。

### ●注力テーマ



このうち営業戦略については、成長性・安全性・収益性の高い企業との取引を拡大すべく、特に関東・東海・関西の3大都市圏と道州制になった場合の道都・州都を中心に注力してまいります。なお、当第2四半期における3大都市圏での売上高は、全体の82.2%を占めています。

新規成長戦略では、WEB卸機能の確立に向けて、BtoB通販サイト「WEB卸サイト」や、BtoC通販サイト「食べモール」などを展開し、販路を拡大しています。また、「POSA型ギフトカード」事業を開始し、新たな価値提供による市場の創造に取組んでおります。（P5-6ご参照ください）

引続き、これらの注力テーマをさらに推進し、「卸機能の強化」を果たすとともに、「NEXT10」第3ステージの成長ビジョン「卸機能のイノベーション」への足掛かりを築いていく考えです。その取組みを通じて、下記に示す通期業績予想数値を達成してまいります。

|         |       |             |
|---------|-------|-------------|
| ●連結業績予想 | 売上高   | 595,500 百万円 |
|         | 営業利益  | 6,400 百万円   |
|         | 経常利益  | 7,200 百万円   |
|         | 当期純利益 | 4,300 百万円   |

## Q 株主の皆様へのメッセージをお願いします。

↓  
A 「NEXT10」の目標達成に向けて  
着実に歩みを進め、さらなる成長発展を  
目指してまいります。

当社グループは「卸機能日本一のグッドカンパニー」をビジョンに掲げ、「卸機能の質的向上」と「新たな付加価値の創造」に取組み、収益の確保と拡大のできる分野へ経営資源を集中することで、なお一層の営業基盤の拡充を図ってまいります。

株主の皆様におかれましては、引き続き一層のご支援を賜りますようお願い申し上げます。

\*当社は前期（平成23年3月期）より決算期を9月から3月に変更しております。そのため、当第2四半期の概況は比較を容易にするため、前年同期（平成22年4月1日から平成22年9月30日まで）との比較を一部使用しております。

## 売上高

311,602 百万円

(前年同期比 1.4%増)

コンビニエンスストアを中心とする取引増加により、売上高が好調に推移、また物流収入手数料も前年同期比で増収となりました。これらにより売上高は 3,116 億 2 百万円となりました。

## 経常利益

3,597 百万円

(前年同期比 8.7%増)

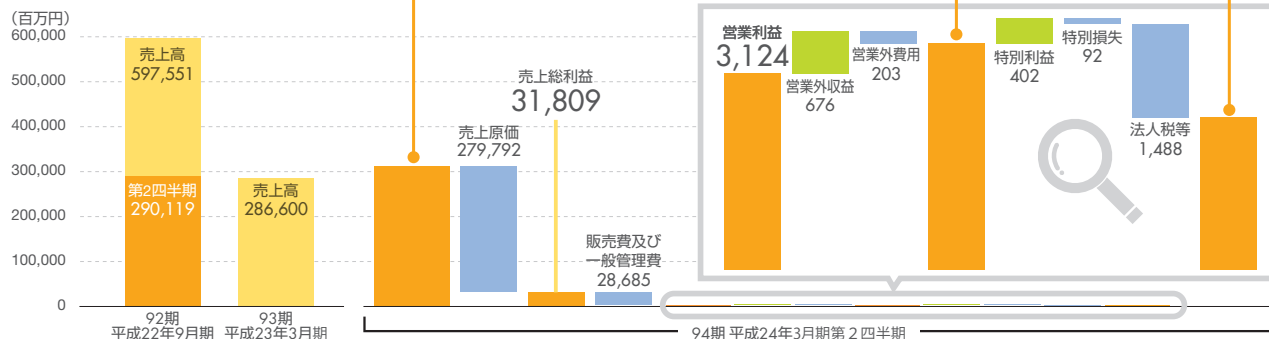
持分法適用会社の収益改善も寄与し、経常利益は 35 億 97 百万円となりました。

## 四半期純利益

2,418 百万円

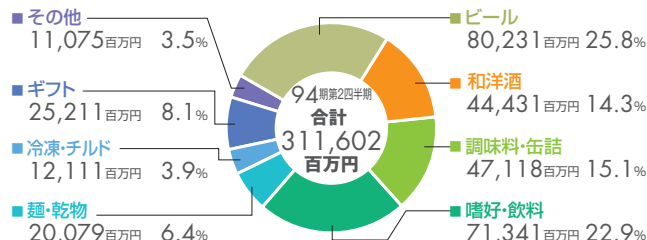
(前年同期比 33.8%増)

経常利益の増益に加えて、投資有価証券の売却等により特別利益の増益もあったため、四半期純利益は 24 億 18 百万円となりました。

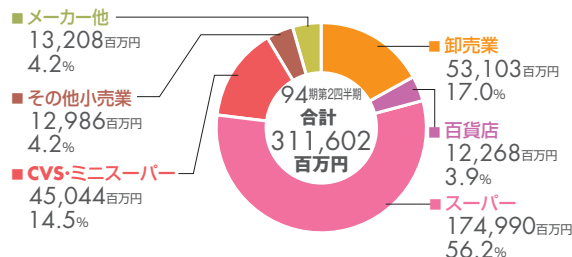


## 売上高構成比

### 商品分類別売上高構成比

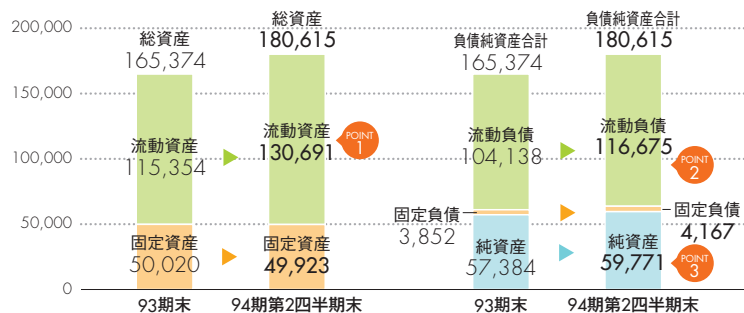


### 業態別売上高構成比



(注)「ビール」には、発泡酒、ビール風アルコール飲料(第3のビール)の売上高を含んでおります。

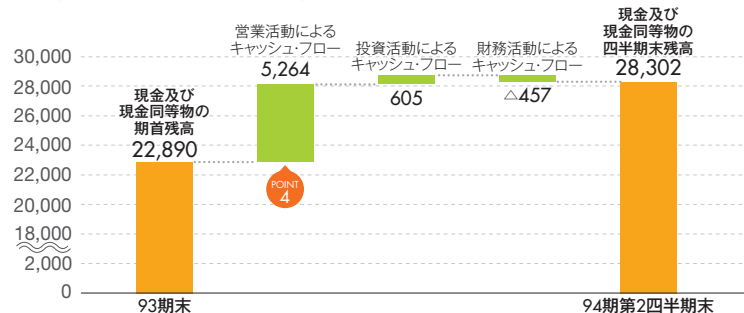
## ● 資産、負債及び純資産の状況 (単位:百万円)



**POINT 1** 資産は、1,806億15百万円となり、前連結会計年度末に比べ152億40百万円の増加となりました。これは、季節要因により売上債権等の流動資産が増加したことによるものであります。

**POINT 2** 負債は、1,208億43百万円となり、前連結会計年度末に比べ128億52百万円の増加となりました。これは、資産の増加と同様、季節要因により仕入債務が増加したことによるものであります。

## ● 連結キャッシュ・フローの状況 (単位:百万円)



**POINT 3** 純資産は、597億71百万円となり、前連結会計年度末に比べ23億87百万円の増加となりました。主な要因は、利益剰余金が20億7百万円増加したことによるものであります。

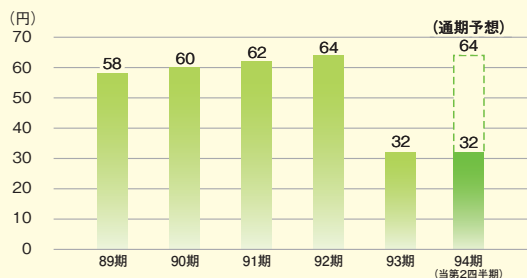
**POINT 4** 営業活動によるキャッシュ・フローは、52億64百万円の収入となりました。これは主に、税金等調整前四半期純利益39億7百万円と季節要因による仕入債務の増加によるものであります。

## 利益配分に関する基本方針

当社グループは株主の皆様への利益還元を最重要政策と認識し、収益力の向上と財務体質の強化を図りながら、株主の皆様への利益配分拡大に努力することを基本方針としております。

中間配当金につきましては、1株当たり32円とさせていただきます。また、通期の配当金につきましては中間配当金の1株当たり32円を含め1株当たり64円を予定しております。

## 1株当たりの配当金の推移





# 販路拡大に向けた事業展開をレポート



## POSA 型ギフトカード事業

### WEB 上の商品交換サイトで 「好きな時」に「好きな商品」を選んで受けとれる カードを使った新しいギフトサービス

本年7月、当社は、凸版印刷㈱と「POSA 型ギフトカード(※) 事業」において業務提携致しました。この提携により当社は、凸版印刷の「ギフトASP サービス」を利用して食品など様々な商品の「POSA 型カード」を発行し、消費者(利用者)がWEB 商品交換サイト「ギフトカードモール exchange.com」で「好きな時」に「好きな商品」を受け取れる新しいギフトサービスを展開いたします。

7月下旬より、お好みの産直商品を選べる「築地市場グルメカード」を発行し、全国の大手スーパーで販売を開始致しました。また、両社は食品メーカーやサービス企業に POSA 型ギフトカード発行の企画、カードの製造・発行、残高管理、WEB 商品交換サイトの運営、商品発送などのビジネスパッケージを提供することで、日本国内で急速に広がるギフトカード市場への参入をサポートし、消費者(利用者)に便利で価値のある様々なギフトカードプラットフォームを提供していきます。

#### ※POSA 型ギフトカード

残高をサーバーで管理するプラスチックカード型の商品券です。POS でギフトカードを有効化(アクティベート)し、販売することができます。販売が成立するまでギフトカードは利用不可能な状態であるため、従来の紙商品券やプリペイドカード販売時のような仕入原価が発生せず、在庫リスク・管理が不要となり、金券類でありながら紛失等を意識する必要もないので、陳列販売が可能です。





## WEB事業

### BtoC販売の知見を積み、BtoB向け提案を拡充

当社グループでは、WEB対応を強化した食品卸を目指し、平成16年からアウトレット商材のBtoB通販サイトを運営してきました。そして、昨年10月にWEB事業部を設置し、データベース構築や物流拠点再編などのインフラ整備を経て、EC市場を舞台とする本格展開を開始しました。

WEB事業では現在、「WEB卸サイト」など、複数のBtoB通販サイトを運営し、有店舗小売業やネット販売事業者への商品提供を行っています。特にアウトレット商材を扱うサイトでは、新規ネット販売事業者との取引の入口として注力しており、本年10月にサイトをリニューアルし、より利便性を高めました。

また、BtoCの食品通販サイトとして、プロパー商材を扱う「食べモール」などを運営しています。自社でBtoC分野も手掛けることで、ネット販売の知見を蓄積し、BtoB分野への提案力向上につなげています。

さらに、こうしたWEB事業のノウハウを外部にも展開すべく、地方スーパーなどを対象とするネットショップ構築・運営支援事業を開始しました。これは、サイト制作から顧客に商品を届けるまで、全業務を一括代行するものです。

これらの取組みを通じて、当社グループはWEB卸機能のさらなる進化を遂げていきます。



食べモール



## ギフトアソート事業

### ギフト向けに消費者が求めるアソートセットを提供

アソート (assort) とは、さまざまな種類の商品の詰め合わせや食品の盛り合わせを意味する言葉です。当社グループは、商品構成からパッケージデザインに至るまで、入念な調査や情報収集を踏まえ、消費者に価値あるアソートセットを提供しています。

この冬、当社グループでは、キッチンツールとのコラボ商品の販売を開始いたしました。スチームケースやグラスなどと組み合わせたセットは、見た目も楽しく、ダイニングやキッチンに彩りを添える、美味しさ+ (プラス) の贈り物です。



## 好評発売中!

### 名店の人気メニューをご家庭で! 川越達也シェフのプロデュース商品が大人気

当社グループは、著名な外食店舗や老舗名店などの人気メニューをレトルト食品や冷凍食品として、その店のブランドで商品化しています。現在 26ブランドを展開し、生協、スーパー、百貨店、コンビニエンスストアなどで販売中です。

イタリアンレストラン「タツヤ・カワゴエ」(東京・代官山)のオーナーシェフ川越達也氏プロデュースによる「僕の好きなパスタソース」もその一つ。本年 2月に発売したトマトソースとごぼう風味のミートソースは、4カ月で 100万食を突破しました。

そして今秋、新たに「カルボナーラ 彩り煮込み野菜」を加え、年間 350万食の販売を見込みます。さらに新メニュー「みんなのカレー イタリアントマト&バーベキュー」「みんなのスープ 白味噌仕立てのミネストローネ」が加わりました。



#### PROFILE

##### タツヤ・カワゴエ オーナーシェフ

大阪・東京のフレンチ、イタリアン、日本料理店で修業後、数店の料理長を務め、平成 12年に独立開業。平成 18年「TATSUYA KAWAGOE」として、東京・代官山に移転。「ジャンルにとらわれないイタリアン」をコンセプトに独自のスタイルを打ち出す。

## CSR—復興支援への取組み—

### 被災かき養殖業者を広島県とともに支援 気仙沼に「かき養殖いかだ」用資材を提供

当社グループは、東日本大震災により壊滅的な被害を受けた宮城県気仙沼市のかき養殖業者に対し、広島県の「被災かき養殖業再生支援事業」に協力し、「かき養殖いかだ」用の資材提供などを行いました。

本年 8月 26日、気仙沼市の宿舞根漁港で、当社より宮城県漁業協同組合気仙沼総合支所に「かき養殖いかだ」約 260台分の目録を贈呈。その後、現地および広島県のかき養殖業者が共同でいかだ制作を行いました。

被災地の一日も早い復興を心よりお祈り申し上げます。

〔支援先〕 宮城県漁業協同組合気仙沼総合支所  
(漁業地区：気仙沼市唐桑、大島、鹿折の 3地区)



目録の贈呈の様子



いかだ制作開始



# 株主優待

のご案内

3,000円相当

## ちよいす de チョイス

厳選された約50種類の商品からお好きな商品をお選びいただけるギフトです。

当社では、毎年3月31日の最終の株主名簿に記載または記録された単元株式数(100株)以上保有の株主様1名につき1口、当社オリジナルギフト商品をご賞味いただける株主優待を行っております。

優待のカatalogの発送は6月を予定しております。

※Catalog掲載商品は変更となる場合があります。

ふらの  
キングメロン1玉



第2位

銘柄米詰合せ



「さんしょく伊賀上野の里」  
ロースハム&つるし焼豚詰合せ

第3位



第4位

伊賀越  
調味料詰合せ



芦屋  
フィナンシェ



大山ハム  
伝統の逸品



一番  
人気

博多ふくいち  
辛子明太子 上切れ

第5位



博多華味鳥  
カレーセット



博多ひもの工房  
九州海鮮一夜干し



ちよいす de チョイス が届くまで

1 6月下旬頃



2 9月30日までに  
ご投函ください。



3 お届け

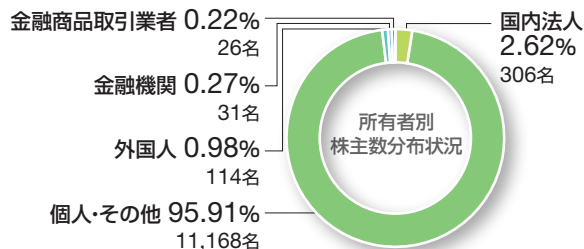
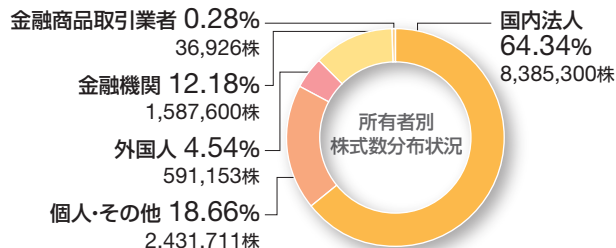
株主総会後、決議通知に優待のカatalogとハガキを同封しご郵送いたします。

Catalogより優待商品をお選びいただき、ハガキを返信していただきます。

お選びいただいた優待商品がお手元に届きます。



|          |             |
|----------|-------------|
| 発行可能株式総数 | 40,000,000株 |
| 発行済株式の総数 | 13,032,690株 |
| 株主数      | 11,645名     |



大株主

| 株主名                                                  | 所有株式数(株)  | 所有株式数比率 (%) |
|------------------------------------------------------|-----------|-------------|
| 伊藤忠商事(株)                                             | 6,220,316 | 47.72       |
| 日本トラスティ・サービス信託銀行(株)<br>(住友信託銀行再信託分・アサヒビール(株)退職給付信託口) | 690,000   | 5.29        |
| アサヒビール(株)                                            | 421,500   | 3.23        |
| (株)日本アクセス                                            | 400,000   | 3.06        |
| 味の素(株)                                               | 339,129   | 2.60        |
| 松下 善四郎                                               | 302,000   | 2.31        |
| みずほ信託銀行(株)退職給付信託みずほ銀行口<br>再信託受託者資産管理サービス信託銀行(株)      | 236,835   | 1.81        |
| 伊藤忠食品 従業員持株会                                         | 177,200   | 1.35        |
| 日本トラスティ・サービス信託銀行(株)(信託口)                             | 142,400   | 1.09        |
| 日本マスタートラスト信託銀行(株)(信託口)                               | 131,000   | 1.00        |

(注) 1 上記のほか、自己株式が194,534株あります。

2 日本トラスティ・サービス信託銀行(株)(住友信託銀行再信託分・アサヒビル(株)退職給付信託口)の所有株式は、アサヒビル(株)が所有していた当社株式を住友信託銀行(株)に信託したものが、日本トラスティ・サービス信託銀行(株)に再信託されたもので、議決権はアサヒビル(株)に留保されております。

3 みずほ信託銀行(株)退職給付信託みずほ銀行口再信託受託者資産管理サービス信託銀行(株)の所有株式は、(株)みずほ銀行が所有していた当社株式をみずほ信託銀行(株)に信託したものが、資産管理サービス信託銀行(株)に再信託されたもので、議決権は(株)みずほ銀行に留保されております。

## INFORMATION

ご案内

住所変更、  
単元未満株式の  
買取等のお申出先

証券会社に口座のある株主様

株主様の口座のある証券会社にお申出ください。

証券会社に口座がないため  
特別口座が開設されました株主様

特別口座の口座管理機関である中央三井信託銀行株式会社にお申出ください。

## 「配当金のお支払い」 について

配当金領収証にてお受取りの  
株主様

「支払通知書」に替えて「配当金計算書」を同封いたしております。

口座振込を指定されている株主様

配当金支払いの際送付している「配当金計算書」が「支払通知書」となります。

## 「配当金計算書」について

※確定申告をなされる株主様は大切に保管してください。

配当金支払の際送付している「配当金計算書」は、租税特別措置法の規定に基づく「支払通知書」を兼ねております。確定申告を行う際は、その添付書類としてご使用いただくことができます。

未払配当金の支払いのお申出先

株主名簿管理人である中央三井信託銀行株式会社にお申出ください。

クチコミとランキングで新製品検索 注目のコミュニティサイト



みんなでつくる みんなつながる

# 新製品databook

全ての新製品を情報閲覧・検索そして評価するサイトです。サプライヤのみならず、生活者・消費者も口コミ・評価を書き込みできる、新製品に特化したソーシャルメディアです。新製品情報を、メーカー、小売業、生活者がシェアし、コミュニケーションし、情報の付加価値が高まる設計です。

新製品データブックDBへ書き込みいただいた商品情報をWEBサイトへアップします。  
消費者はアップされた商品情報に口コミ・評価を加え、互いにコミュニケーションできます。



<http://newproductdb.com/>

新製品databook

検索

**ISC 伊藤忠食品株式会社**

お問い合わせ

■ 大阪本社 〒540-8522 大阪市中央区城見2-2-22 電話 (06)6947-9811  
■ 東京本社 〒103-8320 東京都中央区日本橋室町3-3-9 電話 (03)3270-7620  
■ インターネットホームページURL <http://www.itochu-shokuhin.com/>



本報告書は、環境保全のため、FSC® 認証紙を使用して植物油インクで印刷しています。